

令和 4 年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	36	学 校 名	県立静岡東高等学校	記 載 者	山梨 祥子
------	----	-------	-----------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組 目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	授業改善と確かな学力の向上	・教員の授業参観 年3回以上 100% ・「授業を通して新たな知識や考え方を身に付けた」と答える生徒の割合 全科目で80%以上 ・教員の教科指導セミナー参加者人数 5人以上 ・課題解決のための先進校訪問 2人以上 ・1・2年家庭学習時間平日1日平均最低90分、目標3時間以上 ・1・2年11月進研模試偏差値平均55以上 ・大学入学共通テスト平均点 全国平均+5%以上 ・学習支援プラットフォーム（Classi）の学習指導への活用 ・新教育課程・共通テストに対応する体制の確立 ・3年間を見通した進路指導計画の検証と改善 ・Classiによる活動履歴蓄積の推進 ・「授業を通して新たな知識や考え方を身に付けることができた」生徒80%以上 ・「社会の様々な課題の解決に向けて、自ら主体的に関わろうと思う生徒」80%以上 ・授業への取組状況・姿勢について、「自ら進んで取り組んでいる生徒」70%以上 ・一人一台PCの導入と活用方法の検討と決定 ・情報機器を活用した学習機会の拡大 ・授業や探究学習でオンライン学習や交流活動を進める。	A	A	・全教員が授業参観に積極的に参加されている。 ・様々な課題解決のために先進校に学ぶ訪問が行われるなど、現状に満足することなく、より一層の改善努力がなされている。 ・生徒の共通テストの平均点数など学力の向上や探究授業についての取り組みなど、一定の成果は出ているように思える。 ・学内でICTを有効活用しながら学校運営の取り組んでいることがうかがえた。

イ	志の育成と進路目標への挑戦	・大学模擬授業 生徒満足度 各 90% 以上 ・大学訪問 生徒各自の目標達成率 100% (オンライン説明会参加も含む) ・大学入学共通テスト 5 教科型受験率 80% 以上 ・ハイレベル模試受験者数 学年各 30 人以上 ・県内国公立大学合格者数 60 人以上 ・国公立大学現役合格者数 卒業生の 50% 以上 ・難関国公立大学(※1) 合格者数 10 人以上 ・難関私立大学(※2) 合格者数 90 人以上 ・「専門教養講座(後期)」の単位取得者 5 人以上 ・生徒個人面談回数 年間 5 回以上 ・静岡大学実験講座 参加者数 20 人以上 満足度 90% 以上 ・修学旅行生徒満足度 90% 以上 ・SDGs 等に関する各種外部コンテスト・プレゼン大会に参加する生徒 30 人以上 ・SDGs terakoya 参加者の満足度 90% 以上 ・英語外部検定(GTEC 等「学びの基礎診断」) C E F R B1 レベル 60 人以上 A2 レベル 500 人以上	B	B	・進路目標に対する取り組みの意識は高い。 ・大学訪問については、静岡大学教育学部では、オンライン申請のフォームを作成した。「オープンキャンパス」や模擬授業などとは異なる「日常の大学生活」の様子を見ることができるので、利用をすすめていただくとありがたい。 ・様々な取り組みを通して、生徒の志の育成と進路目標の挑戦を促していることが、成果となっている。 ・SDGs コンテスト、プレゼン等に参加するなど、探究型学習への取組が前年比倍増(26 人から 52 人)している。 ・生徒が個々に主体的に取り組めるような「探究」の課題のような形で、家庭での学習を進められるように、工夫していただければと思う。(オンラインを活用して、中間発表をするなど)。 ・授業改善の努力と成果が見え、生徒の学力向上につながっている。
ウ	自主自律の精神と豊かな人間性の育成	・遅刻生徒数 1 日平均全校で 5 人以下 ・東陵祭生徒満足度 80% 以上 ・「自ら挨拶をしている」と答える生徒 90% 以上 ・各部活動の目標達成率 80% 以上 ・最終下校時間 19:30 の遵守 ・初期指導を効果的に実施する中で、「高校生活指導プログラム」の見直しを図る。 ・情報モラル講座の実施、関連の生徒指導 0 件 ・文化教室 生徒満足度 80% 以上 ・ビブリオバトルの実施 ・図書館の貸出本冊数 5,000 冊以上	B	A	・地域と学校との情報共有を円滑に進めていただいて、これからの社会を生きる生徒達に、よりよい教育環境を提供できるよう、よろしくお願いしたい。 ・いじめや差別などいつ起こってもおかしくない社会背景がある。その点、東高のレベルは高い。現状に満足することなく、これからも指導を進めてほしい。

エ	心身の健康と命を守る教育の推進	・重大な生徒交通事故件数 0 件 ・保健便りの発行回数 10 回以上と発行方法の工夫 ・養護教諭による集団を対象とした保健教育の実施 ・グループエンカウンター (1 年生) の実施 ・セラ・プラスの実施と活用 全学年 ・1 分間カウンセリング (1 年生) の見直しと代替措置の検討 ・丁寧な生徒観察と早めの声掛けを実施し、関係職員や S C との情報共有等、困難を抱えた生徒に対する組織的な支援の実施 ・地域防災訓練への生徒参加率 80% 以上 ・一斉メール配信を活用した安否確認訓練の実施	B	B	・指導カードが全県の中でも多く出されているとのこと、残念である。軽度から中度だったとしても、油断はできない。個人的に注意をすればすむことなのか、道路の状態などに問題がないのかなど、事故発生の原因を調査し、改善策を検討して取り組んでいただきたい。 ・防災教育についても、よろしくお願ひしたい。 ・地理的に自転車による事故などは多いと思うので継続して指導に励んでほしい。 ・交通教室や交通街頭指導を通じて、自転車ルール・マナーの指導を毎年着実に実施されることを期待する。 ・生徒達の要望を聞く機会も持っていたけるとありがたい。 ・地域防災訓練の参加等は学校行事との兼ね合いもあり難しい部分もある。
オ	積極的な広報活動	・土曜公開授業の参加者数 計 1,600 人以上 ・土曜公開授業外部評価 満足度 90% 以上 ・土曜公開授業での校内美化点検の実施 ・HP のタイムリーな情報発信と週 2 回以上の更新 ・HP における各部活動の活動報告 学期 1 回以上 ・特色ある行事や生徒の取組を記者提供し、前年度を上回るメディアへの登場回数を達成する ・60 周年記念事業への参加者の満足度 90% 以上	A	A	・土曜公開授業の実施成果や HP の更新など積極的な広報活動の取り組みが見られ、以前よりもますます向上している印象を受けた。古い校舎であっても、外来者へのアンケートで学校が汚いという指摘はほとんどないというのは立派である。 ・広報として考える前に、まずは東高をどのような人に、どのような形で知ってもらいたいかを整理するべきと思う。それによって利用する媒体、発信方法はだいに変わってくる。頻度や予算配分も変わってくる。 ・新聞に取り上げられた回数を目標にするのは、そろそろやめてもよいと思う

様式第 5 号

カ	業務改善と働きやすい職場づくり	・事務室窓口へのクレーム件数 0 件 ・月 1 回の安全点検の実施 ・ごみ処理費前年比減 ・「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上 ・配布された Google アカウント内のチャット機能により、勤務時間外も含めた非常時に、管理職、運営委員が迅速な情報共有と意見交換を行えるようにする。 ・校務分掌や部活動の整理、統廃合による校務整理 ・各種調査、教材研究等積極的に ICT 機器を活用し、校務の効率化を図る。	A	B	・ICTによる公務の効率化をさらにすすめ、内部だけでなく外部の専門家を活用し、先進校の状況を積極的に取り込み、校務の効率化・教職員の負担軽減に一段と努力をお願いしたい。 ・チャットを活用するなどして、生徒と先生の信頼関係が構築されているとのこと、素敵なことだと思う。このことは、先生同士のコミュニケーションが良好に展開されている証だと思う。 ・善意や熱意も大事だとは思いますが、やりがい搾取は、労務管理上好ましくない。 ・ITの導入や持続的な学力向上についてはまだまだというよりも抜本的に改善の余地があるかと感じた。今後の取り組みについて期待する。 ・部活動の見直しなどは積極的に行っていくべきだとも思う。
キ	新校舎建築に関わる業務の遂行	・提示された基本設計（校舎配置、諸室配置、仮設校舎、バックヤードの設定等を含む）について、職員に丁寧に説明し、それに対する意見や要望を集約する。 ・設計に関する学校の意見を教育施設課や営繕工事課等県担当課に的確に伝え、適切に意見交換や情報交換に努める。	A	A	・LGBT に配慮したトイレも検討が必要だと思う。 ・学校周辺の方々に理解を求めつつ協力して乗り切る選択を模索してもいいのかなと感じた。 ・新校舎建築と今後の計画について適切に示めされており、順調に遂行されること願う。 ・新校舎建替え工事は、職員生徒、保護者並びに地域住民への情報公開を適宜行い、理解を得る努力をされたい。 ・部活動生徒への注意喚起等事故防止には、最善の配慮を願いたい。

ク	スクール・ポリシーの策定と周知	・スクール・ポリシー策定委員会（仮称）を設置し、現行グランドデザインと突合しながら、学校の在り方や将来像について定期的な協議を行い、スクール・ポリシーを策定する。 ・職員に上記の検討経過や内容を提示し、幅広く意見を聴取する。 ・生徒、保護者、中学校、地域等に、策定したスクール・ポリシーや本校の目指す将来像を周知し、学校の教育活動の浸透を図る。	A	A	・大変素晴らしいスクールポリシーだと思う。私自身、高校時代はとりわけ自立を促す時期であると感じているので生徒一人ひとりに訴求していける体制づくりをお願いしたい。 ・「生徒、保護者、中学校、地域等に、策定したスクール・ポリシーや本校の目指す将来像を周知し…」とあるが、決まったことを上から伝えるのではなく、生徒達や先生方から、「東高をこうしたい」、「こうでありたい」という声が挙がってくると、もっと良くなると思う。 ・一度、語ってもらう機会を設けると意識が高まるのではないかな。 ・スクールポリシーの策定では、保護者、OBや地域住民の期待・要望をも取り入れ、校内外に周知されることを期待したい。 ・スクールポリシーについて十分な検討がなされ、学校の実状に合ったスクールポリシーが策定されたと思う。今後、校内外へ周知させて教育活動に反映させて欲しい。
---	--	--	---	---	---